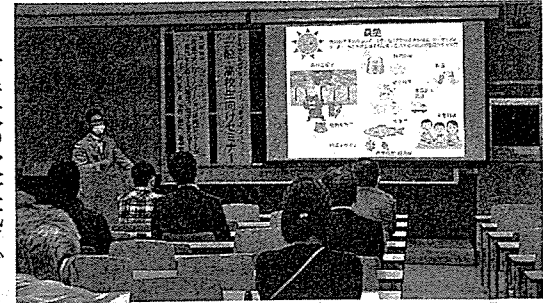


## 農学研究に関心高めて 岩手大のセミナー開始



農学やSDGsに関する研究を市民や高校生向けに紹介するセミナー

### 盛岡

岩手大の次世代アグリイノベーション研究センター（センター長・下野裕之農学部教授）は今月、研究成果を発信する一般・高校生向けセミナーを盛岡市上田の同大で始めた。食料生産、生態系など多様な農学研究を持続可能な開発目標（SDGs）の視点を踏まえて解説し、社会課題への関心を高めてもらう。

初回の2日は約30人が参加し、下野センター長がセンターの概要や農学について講義。センターで取り組む▽生物生産▽食と生活▽生態環境の3部門の研究や、学生によるプロジェクトなどを紹介し「答えのない課題の解決に向け、センターが答えを探る起点となり皆さんを巻き込んでいきたい」と語った。

参加した岩淵有唯さん（盛岡二高3年）は「農業やSDGsの関わりを知ることができ、今まで以上に興味が湧いた」と関心を高めた。セミナーは今後も同大で月1回程度、平日午後5時から1時間開催する。詳細はホームページに掲載。申し込み、問い合わせは同センター（019・

6211・6851）、メール（aic@iwate-u.ac.jp）>。



同センターの  
ホームページ  
はこちら

岩手日報 令和4年6月11日付/18面

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。